

緑のまち

法人化30周年記念特別号 第44号

平成30年11月30日発行



公益財団法人日野市環境緑化協会

〒191-0016 日野市神明2-13-1

☎042-585-4740

<http://www.hinoryokka.org/>

春



多摩平第一公園

出かけてみませんか

花咲く公園

冬



旭が丘東公園

春



金田公園

夏



鼻どり田公園

秋



日野中央公園

理事長あいさつ



尾崎 義昭

猛暑や台風の異常気象が相次ぎました
が、日野市内の公園や雑木林や街路樹の
木々も紅葉の季節から冬支度へと移り変
わりを感じる季節となりました。

公益財団法人日野市環境緑化協会は、
日野市における都市環境の向上を図り、
都市の緑化を推進し緑と清流を守り、う
るおい豊かな都市づくりに寄与すること
を目的に本年度法人化三十周年を迎える
こととなりました。

東京都内にあつて、三十年の長きに渡
り、緑あふれる豊かな日野市を築いてこ
れたのは、ひとえに日野市民の皆様の緑
化推進に対する意識の高さとご協力の賜
物と、職員一同心より感謝申し上げます。

また引き続き、花壇植付けボランティア
ア団体の募集、花の交流広場、庭木の手
入れ講習会、菊花コンテスト、緑の写真展、
稲わら・竹細工講習会、市内の落ち葉の
腐葉土・肥料の販売、市内公園公共施設
への花の植え付け、市内公園整備などの
業務も行いながら、日野市が緑多き豊か
な都市へと発展することを願い、職員一
同、尚一層努力する所存でございます。

結びに、法人化三十周年への皆様様
のご尽力、ご協力に、書面をお借りしまし
てお礼申し上げます。

平成29年度 決算

収 益	基本財産運用益	309,999円
	事業収益	22,765,580円
	受取補助金等	22,861,542円
	受取寄付金	213円
	雑収益	86円
経常収益計		45,937,420円
費用	事業費	40,757,908円
	管理費	5,183,399円
経常費用計		45,941,307円

平成30年度 予算

収 益	基本財産運用益	260,000円
	事業収益	22,747,000円
	受取補助金等	22,877,000円
	受取寄付金	1,000円
経常収益計		45,887,000円
費用	事業費	40,711,226円
	管理費	5,175,774円
経常費用計		45,887,000円

「事業計画書・予算書」「事業報告書・決算書」については、緑化協会HPをご覧ください。緑化協会事務所に備え付けてありますのでお気軽にお越し下さい。



腐葉土・肥料 販売



緑化協会職員が公園の落ち葉を利用して作った腐葉土は、放射性物質検査を行い販売しています。また(有機)乾燥肥料や(化成)固形肥料も販売していますので、是非ご利用下さい。

〈販売場所・時間〉 緑化協会事務所：平日 8:30～17:15
 〈価格〉 腐葉土 …… 800円(44ℓ)、400円(20ℓ)、100円(4ℓ)
 乾燥肥料 … 100円(400g)
 固形肥料 … 30円(160g)

*配達については、ご相談下さい。
 *数に限りがあるので、1回の購入には数量制限があります。ご理解とご協力をお願いします。

役員名簿

理事長	尾崎 義昭
副理事長	国分 知子
常務理事	坂田 勉
理事	志村 進一
理事	宗 昌枝
理事	小笠 俊樹
理事	石坂 昌子
監事	渡辺 良勝
監事	榎本 数隆

評議員	垣内 成剛
評議員	奥住 日出男
評議員	橋本 栄萬
評議員	片岡 容子
評議員	井上 敏夫
評議員	加納 秀一
評議員	奥住 登

緑の募金

今年も4月～5月を強化月間として取り組んだ「緑の募金」に、たくさんの御理解と御協力をいただきました。

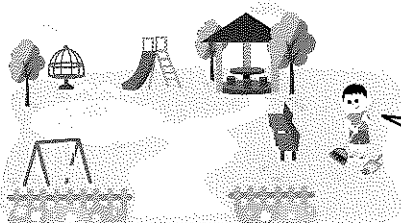
お預かりした募金は東京緑化推進委員会に納入して森林整備等の事業に使用されるほか、一部は当協会にも還元されて、市内の花壇に四季の花々を植え付けるなど、多くの場面で役立っています。

皆さまの御協力ありがとうございました。

平成30年度募金総額 (10月末現在)

1,500,123円

公園清掃ボランティア大募集




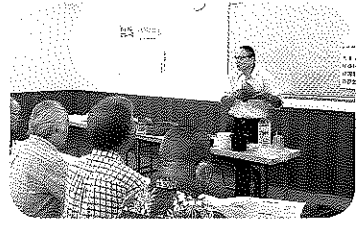
地域の公園を
自分達の手で
清掃管理して
みませんか

緑化協会で行っている市内121箇所の公園清掃等管理をお手伝いして下さる愛護会を募集しています。(活動の一部をP12で紹介しています)

活動内容は?…月2回の清掃、年2回の除草
 ひとりでもOK?…原則として5人以上のグループで登録
 活動費は?…道具類の購入費など、一定額が支給されます

少しでも興味のある方は、お気軽に緑化協会までお問い合わせください ☎585-4740

平成30年度事業実績 (その1)

<p>緑のリサイクル</p>	<p>ご家庭で増えすぎた植物をご提供いただき、4月21日(土)イベント当日に集まった皆様に配布しました。今年は、34名の方に約142種、1,015点もご提供いただきました。</p>	
<p>子ども昆虫教室</p>	<p>夏休み直前の7月14日(土)、市内小学生を対象に実施しました。標本鑑賞をしたり、生きた珍しい昆虫に触れたりしました。後半は、日野中央公園に昆虫採集に出かけ、夏の楽しい思い出となりました。</p>	
<p>菊の育て方講習会</p>	<p>日野市菊友会より講師を迎え、7月18日(水)「大菊の育て方講習会」と8月2日(木)「ポットマム・スプレー菊の育て方講習会」を2部開催で実施しました。苗の植付け方から水やり、病害虫の予防法など詳しく教えていただきました。</p>	<p>菊の育て方講習会</p>
<p>菊苗の無料配布</p>	<p>日野市の花である「菊」の普及と、秋に開催する「菊花コンテスト」に参加していただくため、一般市民、老人クラブ、市内小中学校など合計約8,000本の菊苗を無料配布しました。</p>	
<p>庭木の手入れ講習会</p>	<p>10月4日(木)日野緑進会より講師を迎え、庭木の手入れの基本や、剪定の仕方など教えていただきました。後半は、日野中央公園の都市緑化見本園での剪定実演も行いました。</p>	

平成30年度 今後の事業予定

※写真は昨年度のもの

緑の写真展

日野市内でお気に入りの風景や、ご紹介したいスポット、ご自宅で育てた植物の写真を出展しませんか？

テーマ ①日野の四季 ②わが家の緑

募集期間:平成30年11月5日(月)~12月7日(金)

展示期間:平成30年12月14日(金)~25日(火)

展示場所:日野市役所 1階 市民ホール

※詳細は、広報ひの11月1日号(募集)、12月1日号(写真展)掲載



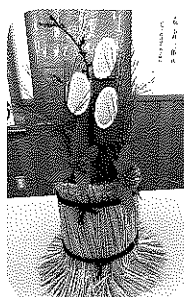
緑化講習会&イベント

稲わら・竹細工講習会

自然素材の稲わらや竹を使い、お正月用のミニ門松を作る講習会です。手作りのミニ門松で新年を迎えてみませんか？

開催日:平成30年
12月13日(木)

※詳細は、広報ひの
12月1日号掲載



春の草花・家庭果樹の管理講習会

実をつける剪定のやり方や適期など、目からウロコのお話が満載!

開催予定日:平成31年2月7日(木)

※詳細は、広報ひの1月15日号掲載予定

ガーデニング講習会

土作りなどの基本をおさえれば、手間をかけずにいつもきれいなガーデンに!そんな秘訣が学べます。

開催予定日:平成31年3月7日(木)

※詳細は、広報ひの2月15日号掲載予定

スプリングフェスタひの

市民参加の人気のイベントです。当日は、吹奏楽やダンス等のステージ演目や、市内商工業者による多数の模擬店があり、子どもから大人まで、家族揃って楽しめる催しです。

開催予定日:平成31年3月下旬

※詳細は、広報ひの3月15日号掲載予定



※詳しくは、いずれも協会ホームページをご覧ください。(http://www.hinoryokka.org/)

平成30年度事業実績 (その2)

(公財) 日野市環境緑化協会法人化30周年記念

菊花コンテスト

展示期間
10月30日(火)～
11月9日(金)

夏に配布した菊苗を育てていただき、秋に行う「菊花コンテスト」を、今年度は法人化30周年記念として実施しました。11月9日(金)にひの煉瓦ホールで行った表彰式では、前緑化協会理事長の萱嶋信氏のスピーチと特別賞の授与も行いました。



(公財) 日野市環境緑化協会
法人化30周年記念特別賞
(特別賞は、市長賞の中から1点選出しました)



市民一般
ポットマムの部
市長賞



老人クラブの部
市長賞

平成30年度 配布苗菊花コンテスト受賞者一覧

(敬称略)

賞名	市民一般の部			老人クラブの部	小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部		
(公財)日野市環境緑化協会 法人化30周年記念特別賞	日野第六小学校				
日野市長賞	菊地 邦雄	田中 弘	旗野 美智子	川北クラブ	日野第六小学校
日野市議会議長賞	小島 長蔵	菊地 邦雄		久和の美会	旭が丘小学校
日野市教育委員会 教育長賞					東光寺小学校
(公財)日野市環境 緑化協会理事長賞	田中 弘	綱川 志郎	馬場 キミ代	中部長生会	滝合小学校
日野市老人クラブ 連合会会長賞				豊寿会	
日野市菊友会会長賞	天野 正次	馬場 哲郎			
東京南農業協同組合 代表理事組合長賞	山鼻 茂子	小林 治郎		親和会	

応募総数

市民一般の部
29名50鉢

老人クラブの部
10団体100鉢

小学校の部
12校 115鉢



近年の異常気象は、ガーデナーにとって頭の痛いところです。暑さ、寒さ、台風…と心配ごとが絶えませんが、諦めずに愛情を注ぎ、育ててくれた時の喜びは大きいですね。今年もそんな作品に出会いました。受賞されたお庭を紹介します。

第14回 ガーデニングコンテスト

写真展開催 5月22日～6月5日

日野市役所1階
市民ホールにて、
すべての応募作品
を展示しました。



日野市議会議長賞
田中 努様
「四季の花のかおる庭」



日野市長賞
豊田 直子様
「幸せいっぱいのお庭」



緑化協会理事長賞
岡部 美雪様
「生き物いっぱい! ポタジェガーデン」

日野市環境緑化協会30年の歩み

日野市の緑化推進を目的に設立された日野市環境緑化協会は、昭和64年1月6日に財団法人化され、平成24年の公益財団法人への移行を経て今年度、法人化30周年を迎えました。この間、緑化や自然保護、環境を取り巻く情勢は大きく変わり、危機的な状況がある反面、人々の創意と工夫で改善を図る動きが出て来ています。日野市でも市民の皆様の協力を得ながら緑豊かなまちを目指して、様々な活動を展開してまいりました。今回の会報「緑のまち」では、法人化30周年を記念して、日野市環境緑化協会の足跡を確認します。

	環境緑化協会	日野市	環境トピックス
昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> 日野市環境緑化協会設立総会を開催(4月18日) 環境緑化協会会報の創刊号を発行(市民公募により第2号から「緑のまち」となる) 		
64年(平成元年)	<ul style="list-style-type: none"> 日野市環境緑化協会が財団法人としてスタート(初代理事長は萱嶋泉氏) 	<ul style="list-style-type: none"> 南平丘陵公園が開園 	
平成2年		<ul style="list-style-type: none"> 浅川サバイバルレースを開始 	<ul style="list-style-type: none"> 「国際花と緑の博覧会」が大阪府で開催
3年	<ul style="list-style-type: none"> 緑化マップ「みどりのさんぼみち」を作成 	<ul style="list-style-type: none"> 万願寺歩道橋(ふれあい橋)が開通 	<ul style="list-style-type: none"> 初の地球環境サミットがリオデジャネイロで開催
4年	<ul style="list-style-type: none"> 「緑の意識調査」を実施(緑化に対する市民の関心・要望を調査) 		<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性に関する条約が発効 環境基本法を制定
5年			
7年		<ul style="list-style-type: none"> 国土庁により日野市が「水の郷」に選ばれる 日野市環境基本条例を制定 	<ul style="list-style-type: none"> 「緑の羽根募金」が法整備のうえ「緑の募金」となる 阪神・淡路大震災が起きる
8年	<ul style="list-style-type: none"> 西宮市に対する「緑の復興募金運動」を実施(阪神・淡路大震災の被災地に対する募金) 		
9年	<ul style="list-style-type: none"> 環境緑化協会事務所が現在地に移転 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次日野市環境基本計画を策定 	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止京都会議で議定書を議決(京都議定書)
10年	<ul style="list-style-type: none"> コスモスアベニュー事業が始まる 	<ul style="list-style-type: none"> 日野市農業基本条例を制定 	
11年	<ul style="list-style-type: none"> 「サクラ植樹募金運動」を実施(日野橋下流の堤防敷に桜を植樹する募金) 	<ul style="list-style-type: none"> ISO14001の認証を取得 	
12年	<ul style="list-style-type: none"> サクラ植樹祭(1回目)を開催(募金によりオオシマザクラ10本を植樹) 	<ul style="list-style-type: none"> 日野市みどりの基本計画を策定 	
13年	<ul style="list-style-type: none"> サクラ植樹祭(2回目)を開催(募金によりオオシマザクラ20本を植樹) 環境緑化協会で生産した腐葉土等の販売を開始 		
14年			<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策推進大綱を改正
17年	<ul style="list-style-type: none"> 環境緑化協会のホームページを開設 「スプリングフェスタひの」を開催(2日間開催の現行スタイルの1回目) ガーデニングコンテスト事業が始まる 	<ul style="list-style-type: none"> 万願寺中央公園が開園 駒形公園内に「ドッグラン」を開設 環境情報センター「かわせみ」を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 京都議定書が発効
19年			<ul style="list-style-type: none"> 「不都合な真実」(アル・ゴア著)が刊行
23年	<ul style="list-style-type: none"> 福島第一原発事故の影響で腐葉土等の販売を自粛(その後検査をし、都の許可を得ながら販売) 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次日野市環境基本計画を策定 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災・福島第一原発事故が起きる
24年	<ul style="list-style-type: none"> 日野市環境緑化協会が公益財団法人としてスタート 	<ul style="list-style-type: none"> 四ツ谷下東公園内に「水と緑の体験施設」を開設 	
25年		<ul style="list-style-type: none"> 日野市制施行50周年 	
26年		<ul style="list-style-type: none"> 日野市環境マネジメントシステム「ひのエコ」を開始 	
29年		<ul style="list-style-type: none"> 「カワセミハウス」がオープン 	<ul style="list-style-type: none"> 「全国都市緑化フェア」が八王子市で開催
30年	<ul style="list-style-type: none"> 日野市環境緑化協会の法人化30周年 		

写真で見る協会の30年



【萌芽更新の作業】

大きく育ち葉が生い茂った樹木を根元から伐採することによって、新たな芽吹きをさせるとともに根元に日光を入れさせるのが萌芽更新。市内の市民団体と共に雑木林で伐採作業を行いました。
(写真は平成13年の作業)



【桜の植樹祭】

平成11年から始まった「サクラ植樹募金運動」で集まった募金を基に、日野橋下流の多摩川沿いでオシマザクラの植樹を2回にわたり行いました。今では桜もしっかり根付き、毎年春には見事な花を咲かせています。
(写真は平成13年の第2回植樹祭)

日野市環境緑化協会は、30年にわたり日野市の緑化を進めてきました。事業の内容は、30年の歩みの中で時代に適合する形に変遷を遂げ、現在に至っています。過去に行われた事業や成果物を振り返ることにより、今後の緑化活動の発展につなげたいと思います。



【親子炭焼き教室】

昔は各家庭で使われていた木炭も、時代の波に押されて姿を消しつつあります。暖をとったり料理だけでなく、脱臭、土壌改良、浄化作用など幅広い用途で使うことのできる木炭を炭焼き小屋で作りました。
(写真は平成8年の炭焼き教室)



【園児と老人クラスによる球根植付け】

市内の花壇に保育園・幼稚園の園児と高齢者の方がチューリップの球根を共同で植付け。子どもたちと老人のふれあいをとおして環境緑化の推進を図りました。
(写真は平成10年の植付け)



【緑の意識調査】

市内の緑化に対する市民の関心・要望などをアンケート形式で調査。945人の方から回答をいただき、環境緑化協会の事業展開に反映しました。ちなみに市内の公園・緑地で一番人気のあった場所は黒川清流公園でした。



【自然観察会】

市内外の緑の名所や散策コースに出かけました。日野の自然を守る会の皆さんが講師として参加し、花や樹木、昆虫の話だけではなく、その土地にまつわる昔話など興味のある話を聞かせてくれました。
(写真は平成4年の観察会)



【菊のさし芽講習会】

菊のさし芽の実技を中心に講習会を開催。菊づくりに関心のある多くの市民が参加しました。現在では講義を含めた「ポットマム・スプレー菊の育て方講習会」に引き継がれています。

(写真は平成11年の講習会)



【緑化マップ「みどりのさんぽみち」】

平成3年に緑化マップ「みどりのさんぽみち」を作成し、市民皆さんに配布しました。市内の緑地、公園、並木等景観のすぐれた所を写真で紹介し、散策できるようコースを作りました。四季の活動の一助となるマップです。

【屋外での表彰式】

菊は日野市の花であり、菊花コンテストは一大イベントとして毎年行われています。現在の表彰式場は市民会館ですが、つい最近までは展示会場である市民プラザで菊の花に囲まれて行われていました。(写真は平成4年の表彰式)



—この公園も30周年— 南平丘陵公園

日野市内には大小さまざまな公園がありますが、南平丘陵公園は市立の公園で一番大きな公園です。この公園が開園したのは、平成元年5月30日。日野市環境緑化協会が法人化したのと同じ年にオープンし、30周年をもうすぐ迎えます。

園内は、起伏に富んだ地形を生かしており、3つのゾーンに分かれています。レクリエーションゾーンにはログハウス風の管理棟や眺めの良い展望台があります。水辺ゾーンには、ひょうたん池や吊り橋、あずまやなどがあり、癒しとやすらぎの場になっています。保全緑地ゾーンは既存の樹種を良好な雑木林として保全しています。

ヤマユリが自生し、多くの野鳥とも出会える南平丘陵公園は、自然の宝庫です。是非お出かけ下さい。

所在地：南平8-8-3 (南平高校東側)

面積：41,215平方メートル



益々の緑化推進に期待

日野市長 大坪 冬彦

日野市環境緑化協会の法人化30周年おめでとうございます。

環境緑化協会は、日野市の緑化を推進するため全市民が会員というスタイルで設立され、その理念を踏襲しつつ、昭和64年1月に財団法人となりました。その後、公益財団法人に移行し、今年度、法人化30周年を迎えました。

日野市は水と緑が豊かなまちです。市内には多摩川、浅川の二級河川が流れ、多摩丘陵には緑があふれています。以前より減ったとはいえ、日野の原風景である田んぼや畑は健在であり、雑木林も市内各所にあります。この大切な自然は、未来を担う子ども達に引き継いでいかなければなりません。

また、みんなで進める緑化活動ということも大事なことです。環境緑化協会は、公園清掃や花壇の植え込みを市民皆さんの協力を得て進めています。それぞれの家族の庭やベランダで花を植えるなど、植物を育てることで市内の緑化に繋がりが、皆が潤いとやすらぎを得ることができるのではないかと考えます。

今後も、環境緑化協会が日野市の大切な自然を守り伝え、市内緑化の推進の先頭に立って活躍されることを期待しています。

結びに、日野市環境緑化協会のますますのご発展を祈念申し上げ、私からの御挨拶とさせていただきます。

おめでとうおめでとう

元理事長 中村 敏夫

日野市環境緑化協会の法人化30周年、おめでとうございます。緑のまち、日野市の益々のご発展を祈念いたします。

祝！30周年

～メッセージをいただきました～

日野市環境緑化協会の活動は、評議員、理事、監事、職員のみならず、多くの皆様の支えで成り立ってきました。法人化30周年に当たり、協会の内外で緑化活動をご指導いただいた皆様からお祝いのメッセージを頂戴しました。



次の世代も

前理事長 萱嶋 信

環境緑化協会法人化30周年。おめでとうございます。

緑化に関する事業はもちろん、市民の方々と共に緑について学び、緑との付き合い方を共有するために、協会のスタッフ、関係者の方々の果たしてきたご苦労に心から敬意を表したいと思います。

公園愛護会が、結成され、身近な公園の清掃管理を受け持つなど、市民の緑への理解、関心に支えられました。そして市をはじめ関係行政機関や造園業など緑に関係深い事業者、構内緑化を進める企業、自然保護団体、菊友会などの色々な団体の協力があったことは、協会にとって幸せなことでした。



小学校の先生の協力のもと、毎年小学生の作文集「緑のまち」が協会から発行されています。子どもたちの確かな視線を頼もしく思うとともに、この子どもたちに、私たちが楽しんできた自然を引き継げないとしたら、ほんとうに申し訳ないことだと思います。

都市化が進む中で、緑を残していくことは、たとえ小さくても困難なことですが、豊かな市民生活のために、協会の一層の充実を祈っております。

お祝いメッセージ

元理事 矢島 稔

日野市環境緑化協会の法人化30周年、誠にありがとうございます。私は東豊田に自宅を建て、新市役所が建設され、公園が武蔵野の花に包まれ、次々に行事が行われて日野市が成長していく姿を日々目にしていましたのを良く覚えています。中でも秋に行われる菊花の展示は、毎年楽しみにしていました。

造り方の多様性と菊そのものの美しさと気品に満ちた色と形を巧みに示す技術には相当な時間をかけ、独自の美しさを引き出すことには頭の下がる思いでした。こうした技術は個人的に工夫し、独自の方法がとられているに違いありません。しかもそれが長い間個人の間に保たれ、それから更に歩み出す事には口には出せない技法があるに違いありません。その技術を市民に見せ、菊そのものの持つ貴賓を花の形に見せるとい

伝統を日野の方々はお持ちです。毎年その花を静かに口に出さず展示される事に敬意を表します。

「緑と清流のまち」を守るため、さらなる躍進を期待します

日野の自然を守る会

この度、公益財団法人日野市環境緑化協会が、法人化30周年の節目を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

また、環境緑化協会が設立されて以来、日野市における都市環境の向上を図るため、都市の緑化を推進し、緑と清流を守り、うるおい豊かな都市づくりに寄与してきたことに敬意と感謝の意を表します。

日野の自然を守る会としても、環境緑化協会の主事業である子ども昆虫教室や市内の公園清掃、その他、観察会の講師派遣など、環境緑化協会の活動に微力ながら今後も協力してまいりたいと存じます。また、元理事長・武貞建男様には、日野の自然を守る会定時総会にて、ご来賓としてご祝辞をいただくなど、当会の活動にも多大なご支援をいただき有り難く思っております。

環境緑化協会におかれましては、今後とも、市の緑化促進を担う代表する組織として、多様な視点で様々な課題を解決し、地域社会と連携をとっていただきながら、環境の変化にも相応した幅広い活動を行っていただきますようご期待いたしますと共に、環境緑化協会が法人化30周年を契機に、これまで歩んできた実績を踏まえ、更なる発展を遂げられますよう心からお祈り申し上げます。





日野の花壇・プランターのご紹介



(公財)日野市環境緑化協会で植付けしている花壇・プランターは、日野市内に68カ所あり、職員をはじめ、愛護会やボランティアの方々に協力して頂きながら、年4回の植付けをしています。植付けやお花の手入れをしていると、「きれいですね!!いつもお花楽しみにしています。」とお声かけして下さる方がいて、とても幸せな気持ちになります。一人でも多くの方々の癒しの空間となりますように、緑あふれる街 日野市!!を目指して、これからも緑化協会職員一同頑張っていきます。



庁舎前	日野中央公園	都市緑化見本園	緑化協会(掲示板前)
日野市役所入口付近や市民会館の広場辺りには、花壇、長方形や丸形のプランターが11基あります。庁舎のレンガにお花たちがよく映えています。	市役所前に広がる日野中央公園内には、時計台下の五角形、長方形、丸型の3カ所花壇があります。花壇以外にも様々な木々やお花でいっぱいです。	日野中央公園の南側に位置し、緑化見本園とバラ園に挟まれた割とひっそりした所に花壇があります。覗いてみてください。	緑化協会の事務所前に花壇とプランターが2つずつあります。掲示板に緑化協会情報も掲載しておりますので、ぜひ見に来てください。

神明上第4緑地	神明上グリーンベルト	水道事務所西側	JR日野駅西側
市役所から日野駅までの市役所通りの坂道途中にある階段状になった花壇です。長方形の花壇にはびっちら花卉が並んでいてきれいです。	市役所近くの銀行付近から、日野中央公園方向に向かう道路沿いの5カ所に花壇があります。春は桜色と花壇のお花の色のコントラストが素敵です。	日野第二中学校と多摩平第2緑地の傍にある三角形の花壇です。見晴らしの良い所にあるので、沢山の方々に知って頂いているかもしれません。	銅像を中心にバスの停留所前の通路沿いに配置された花壇は、日野駅を利用される通勤、通学、待ち合わせ等の多くの方々に見て頂いています。

市民の森スポーツ公園(陸上競技場内フラッグボール)	万願寺中央公園	JR豊田駅北口	旭が丘グリーンベルト
花壇はフラッグボール・東北角入口・事務所前、プランターは各所に21基あります。フラッグボール花壇には何の文字が書かれてる?	緑に囲まれ広々とした公園内にあり、緑化協会で植付けしている花壇の中でも珍しい扇型をした花壇です。	JR中央線の豊田駅北口には日野市役所市民窓口課豊田駅連絡所前の壁沿いに6基、南口には線路と並行に13基の長方形プランターがあります。	日野第四中学校やあさひがおか保育園の東側の桜並木沿いのグリーンベルトには、半円系の花壇が5カ所あります。桜の季節は桃色に染まり、さらに花壇の景色が壮観です。

万願寺歩道橋(ふれあい橋)	下耕地グリーンベルト	高幡不動尊西側	日野市立病院
浅川が流れるふれあい橋の真ん中に丸いプランターが8基並んでいます。お天気の良い日は富士山も見えます。プラッと散歩してみませんか?	京王線の南平駅と平山城址公園駅の真ん中辺りに位置し、京王線を隔てて、東側に5カ所、西側に2カ所の半円形のグリーンベルト花壇です。	高幡不動尊の正門をくぐらずに右手の外堀沿いを歩いて坂道を登っていくと左手にお墓が一望でき、裏門の隣に花壇があります。	多摩平第一公園の野球グラウンド側の道路沿いに10基、ひの社会教育センター側に11基、長方形のプランターがあります。テニスコートの管理事務所近くに、花壇も1つあります。

実践女子大前	四ツ谷下東公園
実践女子大学の北側に位置する三角形の花壇です。すぐ横には住宅街が広がっています。近隣の学校の学生さんやお住まいになっている方々など沢山の方々に楽しんでほしいです。	日野市の最北辺りに位置する公園で、近くには多摩川が流れ、四ツ谷下西公園や仲田小学校があります。大きな花壇には沢山のお花を植付けしています。

市民ボランティア募集中!!

お花に興味がある方、日野市内の公園等の植付けにご協力頂けませんか?

緑化協会では季節ごとに公園や駅など沢山の公共施設の花壇やプランターにお花を植付けしています。植付けや水やり、草取りをお手伝いして下さる方をお待ちしております。花卉は緑化協会でご支給します。植付け場所や時期などお気軽にご相談ください!!

☎585-4740



作文集「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に募集した作文に
一、五六四名の児童から応募がありました。

この中から今年も七名の審査委員により入選作
一〇四編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を発
行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員
長の講評を掲載します。

多摩平の森の魅力

日野第五小学校

四年三組 林 朔太郎

ぼくは、三年半前に、多摩平の森に引っこしてきました。ぼくの住むマンションの八階からは、多摩平の森や、南平の山の森が見えます。ぼくは、以前ここよりももう少し都心の方に住んでいました。そして、その町をととも気に入っていたので、まだ引っこしてきたばかりのころは、あまり日野の町になじめ

ずにいきました。そこで、どうしてこの町に引っこしてきたのかとお母さんに聞くと、この町は便利で、それなのに緑も多く、何よりこの町が安全に子どもを育てられる町だからと言っていました。

ぼくは、改めて多摩平の森を見てみると、だん地がある中で、さりげなく、また美しく植えられている木が目につきました。そんなぼくに、お母さんは、この多摩平の森の集合住宅は、何十年も前である人の設計によって作られたものだと教えてくれました。その設計をした人は、津端修一さんという人で、修一さんは多分、建物のな

かったころの多摩平の緑が好きで、その緑を残しながら、人と緑が仲良くふれ合うことの出来る町にしたかったのではないかと思います。この多摩平の緑をととも気に入って、お母さんは引っこす町を日野に決めたそうです。今では、ぼくのおじいちゃんやおばあちゃんまでもが、この多摩平の緑を気に入って、栃木や群馬から引っこしてきました。津端さんのように、多摩平の緑を残したい人たちの思いがつながって今の多摩平の森があると思うと、少しですが、多摩平の森の歴史にふれる事が出来たような気がします。

これからぼくは、日野の魅力を知るために、この町をよく知る友達から、日野市のよい所をたくさん教えてもらったり、ぼく自身も調べたりして、この町の緑を守っていければいいなと思っています。



自然と向き合う

共生の心

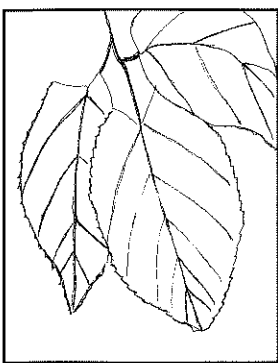
日野第七小学校

六年一組 谷内 新奈

私の祖父は、日野市東平山の農園で有機農法（無農薬）により野菜を育てています。なかでも今年のキュウリは、六株植えて四百五十本収穫できたそう
で、猛暑日が続いた今夏に欠かせない、食卓を彩る野菜となりました。祖父の栽培した野菜は無農薬のせい、虫がついたままの状態でも家に持ち帰られることもあり、水洗い前の葉物野菜の間から虫を見つけることもあります。そんな時、私は大騒ぎをして追い払おうとしてしま
いますが、そんな私を見て祖父は「野菜に虫がいるということ
は、人間にとって安全である証だよ。」と言って、そつと虫を外に逃がしています。

私たちの暮らしは、多種多様な動植物が関わり合いながら形成する自然の恵みに支えられている、だから自然と共生する生活が大切だという「知識としての自然」は、頭では理解しているつもりでいました。しかし、私たちの普段の生活が自然とど

然とどう関わっていけば良いのか、実際に考えたことはありませんでした。祖父の農園では、無農薬といっても自然のままに、放置して野菜を栽培しているのではなく、雑草や枯れた葉を手で取り除く作業を行うことで、虫が野菜につくことを防ぎ、病気に強く丈夫な野菜が育つように工夫をしているそうです。この話を聞いて、殺虫剤や除草剤を使う方法がある中で、手間や時間をかけ、謙虚な姿勢で自然と向き合うことが、緑を守り、自然と共生する上で大切なのだと感じました。私は一年を通して、一定の温度に保たれた、虫もいない室内で大半の時間を過ごしています。地産地消を心がける、ゴミを減らし資源を有効活用するなど、普段の生活の中でもできることを実行するだけでなく、緑豊かな日野市の自然やそこに生息する生き物に直接ふれ自然を感じることを通し、私なりの自然との関わり方を考えていきたいです。



僕が見ているもの

豊田小学校

六年四組 中村 悠星

「昔はねえ、たくさんホタルが飛んでいてきれいだったんだよ。」と、知り合いのおばあちゃんが教えてくれた。僕は、ホタルを見た事が無いので、どんな風に光って飛ぶのか見てみたいくて、残念だと思った。僕の住む川辺堀之内は、道路や水路が整い始め、新しい家も増えてきた。

家の前の畑では、給食に使う野菜が育てられ、大きくなると僕のお腹に入ると考えると、幸せな気分になれる。外で遊んでいると、トカゲやバッタ、アゲハチョウ、トンボを見て季節を感じる事ができる。だから僕は、今のこころも好きだと思おう。

僕の家の花だんでは、家族で野菜や花、果物を作り楽しんでいる。雨の日、花だんを見たら、ぶっくり太った蛙と目が会った。びっくりして、蛙を母に見せたら、母はちょっと変な顔をして、

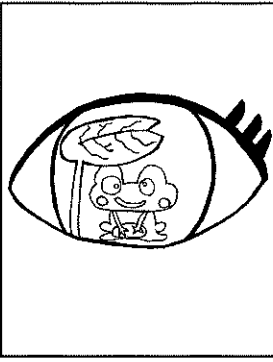
「うわあ、前の畑にもどしてきてよ。」

と言ったので、大事にもどした。梅雨だったので、雨が降っ

ている夜は、里いもの葉っぱの下にまた戻って来て、僕と目が会った。結局、五回もうちの花だんに戻って来て、家族みんなで笑っていくうちに、なんだかかわいくなってきた。どうしてぶっくり蛙は、僕の家に戻って来るのか不思議で、ドラえものの秘密道具があったら、それを使って話してみたかった。

僕は、習い事で剣道をしている。練習で痛くて疲れたり、試合に負けて悔しかったりする。そんな帰りは、一番橋の上から浅川の流れる音を聴くと心が落ち着く。暗い空に月や星がキラキラしていて、また次は頑張ろうと元気が出る。

今、僕が見ているものは、あたり前にあるけれど、守っていないかなければ無くなってしまいかもしれない。だから僕は、心の中に記憶を残し、ずっと守っている人になりたいと思った。そして、もし願いが叶うなら、もう一回ぶっくり蛙に会いたいなあ。



「緑のまち」から見えるもの

審査委員長

日野市立潤徳小学校校長 竹山 弘志

日野市環境緑化協会主催の作文集「緑のまち」に、

今年度は日野市内十七校の四年生と六年生が、二千五百六十四点の作品を寄せてくれました。審査委員七名は、これらの応募作品を丁寧に読ませていただき、作文集「緑のまち」に掲載する作品を選出しました。

児童は、この作文集への応募をとおして自分が住んでいるまちを見つめ返し、改めて感じたこと、考えたこと、実践していることなどを文章にしてくれました。それは、自分が生きていることと環境との関係性について、認識を新たにする機会でもあったと思います。

この作文集の大きなテーマは、「緑のまち」です。「緑と清流のまち」と言われて

いる日野市について、人と自然のかかわりや身の回りに生息している小動物や魚介類などのことを、大人の目線や感覚では気づかないような内容で記述されている作品もたくさん見られました。また、今年の夏は、

猛暑日や台風の影響回数が平年より多かったせいも、緑陰のありがたさや自然災害の視点から書かれた作品も見受けられました。児童が、自分たちが生活している日野市の環境をどのようにとらえ、どのような願いを抱いているのかを、作文の中にたくさん発見できました。私が、作品を読んで強く感じたことは、児童の皆さんが、日野市の丘陵や河川、用水、公園、樹木、草花、鳥、魚、虫、

空気、歴史等に直接触れたり、様々な自然体験や農業体験、清掃活動などにかかわったりする機会をたくさんもっていることです。また、人の道徳性にもかかわるゴミ問題、森林伐採や農地の宅地化などによる環境の変化、これからの環境の在り方などについて自分なりの考えや願いをしっかりともっていることです。

結びに、この作文集「緑のまち」が、多くの皆様にお読みいただけることを願うとともに、作文を書くにあたって、お子さんと日野のまちを散策したり調べたりすることにお付き添いいただいたご家庭の皆様、応募作業にご協力いただいた学校の先生方に厚く感謝申し上げます。

てっぺん山公園



「天辺山」の北東の麓に位置し自然豊かなこの公園は、地元の老人クラブが長年に亘り清掃活動を行って来ました。最初は近隣の3公園から始めた活動も今では4公園に増え、時折お手伝いして下さる近所の方々と一緒に活動しています。毎月の活動日は決まっていますが、時には都合の悪い方もいることでしょう。そんな時は別の日に自分の担当する箇所を掃除するなど、ひとりひとりの

責任感の強さには脱帽しました。

ただ、最近では犬の糞の後始末が悪かったり、タバコのポイ捨てが増えたりと困った事も多いそうです。

今年の暑さで苦勞されたことは？と何うと「毎年のことだから…」と汗ビシヨリの顔でにこやかに笑ってくれました。

これまでも費用を工面して公園内にブロックを敷いて通路を作ったり、地区センター内に花壇を作って四季の花々を植えたり、バス停にベンチを設置するなど、数々の地域貢献活動を実施して来たみなさんですが、清掃の最後に集ってお茶で喉を潤しながら「自分達で利用する公園だから、掃除をするのは当たり前のこと」と口を揃えて語っていました。

掃除で汗をかき土埃に汚れたみなさんの顔が、地元愛に溢れ、何とも誇らしさの感じられる素敵なお顔で、とても輝いていました。



旭が丘西公園

旭が丘西公園

春は桜、夏はアジサイやアベリア、秋の紅葉と落葉の後には、たくさんの日差しが戻ってきて次の季節に備える、草木のリレーが楽しい公園です。



この公園は、なんと最高齢90歳の方を含む、地元の老人クラブのみなさんで清掃活動を行っています。

会員さんからの信頼が厚く、優しい笑顔のリーダーを筆頭に、「公園を掃除するというより、成長させたい」と、隣接した花壇も含め、ゴミ拾いや除草はもちろん、花期を想像した剪定などの植栽管理も行っていました。



初対面の方が多かったのですが、ひとりひとりが高い士気で取り組まれているのが印象的で、お掃除中のみなさんに声をかけさせていただいても、「この活動が楽しい」「他の公園に負けなくらいにキレイにしたい！」とポジティブなお話のオンパレードでした。

清掃が終わり、風が吹き抜けると、思わず両手を広げ深呼吸したくなるような空間に。

公園を後にする、みなさんの後ろ姿は、次世代の私たちが見習いたい、まさに「背中」となっていました。



取材日記

今回取材にご協力いただいた、愛護会2団体のみなさんには温かく迎えていただき、ありがとうございます。また、他の公園清掃をして下さっている愛護会の方々や、ボランティアの方々にも、この紙面を通してお礼を申し上げます。取材を通して感じるのは、「～させていただいている」「～はやって当たり前」と謙虚な姿勢の方が多く、夏の暑さの中での除草、冬の寒い日の落ち葉集め等の他に、マナーの悪い人への憤りなど、長い年月の間には楽しいことばかりではないはずです。それでも、いつも明るく優しく、時には為になる事まで教えて下さって、本当に感謝の気落ちでいっぱいです。言葉にするとありふれてしまいますが、それでも心を込めて「ありがとうございます!!」。今後ともよろしく願いいたします。

編集後記

植物を種から育ててみませんか？

そよ風で飛んでしまうような小さな種や、ひまわりの種のように大きいもの、光が好きなもの、嫌いなもの、手がかるもの、放任でよく育つものなど個性があって、まるで人間のようです。

園芸店で苗を購入して育てるのもよいのですが、発芽から、開花するまでの過程は、それぞれドラマがあり、静かな情熱を感じます。

緑化協会が管理している市内の花壇に、冬場は「ハボタン」が植えてあることが多いのですが、これも協会職員が種から育て、2回の移植を経て大きくしたものです。

機会があれば、是非お近くでご覧になり、今度はご自分で種から育ててみてはいかがでしょうか。【M. H】

四中生徒の職場体験学習

日野第四中学校の生徒3名が職場体験学習で環境緑化協会にやって来ました。9月13日・14日の2日間に渡り、畑の除草、プランターへの菊苗の植え込み、公園清掃などを行いました。また、菊苗などを育てるビニールハウス(苗圃)も見学。ここには乾燥肥料や腐葉土もストックしており、その袋詰め作業も行いました。どの作業も初めての体験ばかりで、戸惑うことも多かったようですが、一生懸命取り組みました。ここで学んだことを3名の今後の活躍に活かしてもらえれば幸いです。

